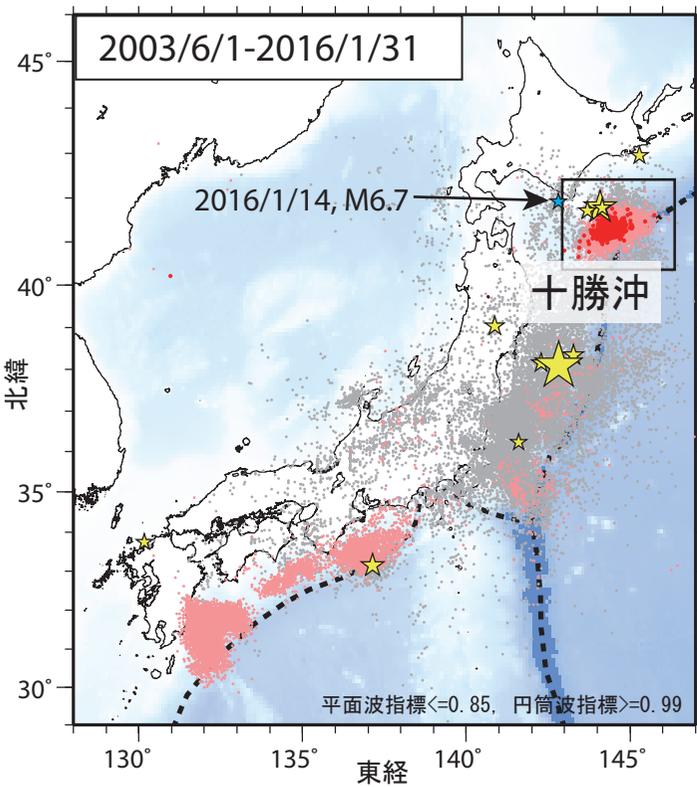
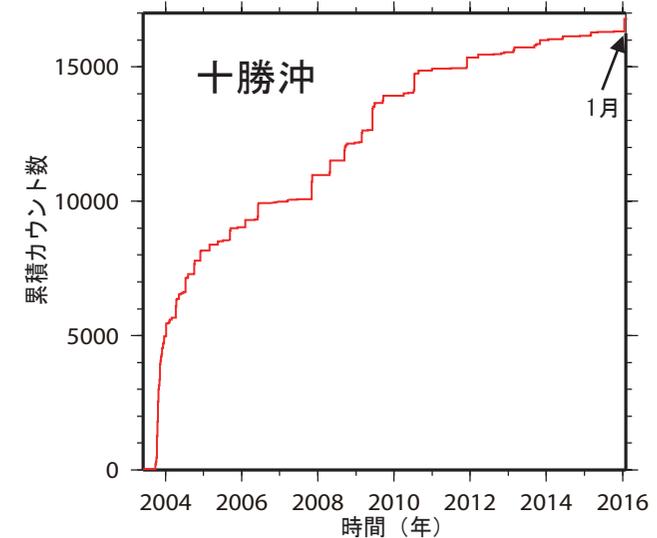


日本周辺における浅部超低周波地震活動（2015年11月～2016年1月）

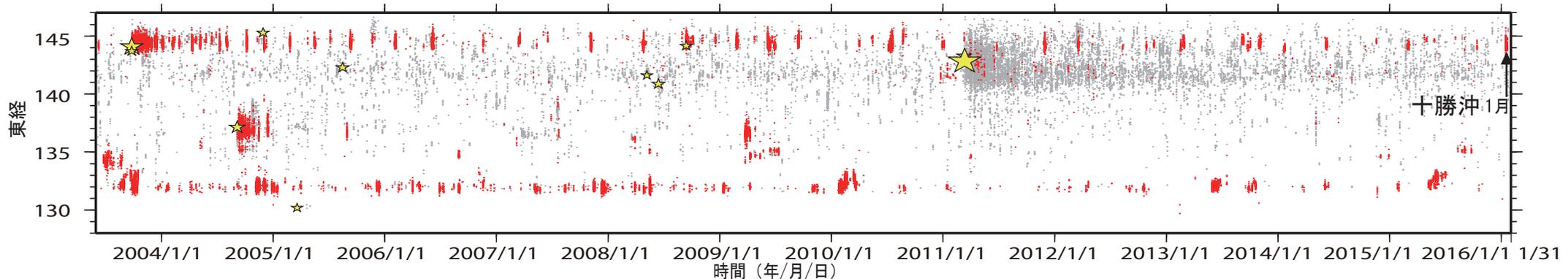


● 浦河沖の地震（1月14日, M6.7）の発生後、
20日頃まで十勝沖で活発な超低周波地震活動
（同程度のカウント数としては2011年以来）

第1図. 2003年6月1日から2016年1月31日までの期間にアレイ解析によって検出されたイベントの震央分布. 検出イベントを防災科研 Hi-net の手動または自動験測震源と照合し, 対応する地震が見出されたイベントを灰色で, それ以外を桃色 (2015年10月31日以前), および赤色 (11月1日以降) の点でそれぞれ示す. これらは主として周期10秒以上に卓越する超低周波地震を表すが, 東北地方太平洋沖地震の発生以降は, 除去しきれない通常地震を含む. 期間内に発生した M7 以上の地震 (ただし, 2011年3月11日以降は東北地方太平洋沖地震の本震のみ) の震央を黄色星印で, 2016年1月14日の浦河沖の地震 (M 6.7) の震央を青色星印で併せて示す.



第2図. 十勝沖における検出イベントの累積カウント数の時間変化. 幅60秒間の解析時間窓を15秒毎に設定し, それぞれの解析時間窓内にイベントが検出される度に1カウントと数えるよう定義した.



第3図. 2003年6月1日から2016年1月31日までの期間に検出されたイベントの時空間分布. 検出されたイベントを防災科研 Hi-net 手動または自動験測震源と照合し, 対応する地震が見出されたイベントを灰色で, それ以外を赤色の点でそれぞれ示す. その他は第1図に同じ.